

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		スポーツ振興事業費[多摩湖駅伝大会事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	1	保健体育総務費	事業番号	3	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名		生涯学習（社会教育） 課			スポーツ推進 係			課長名		高田 匡章		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進								総合計画書 (ページ)		43		
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 多摩湖駅伝大会申込チーム（健康増進等の目的で多摩湖駅伝大会に参加したいと思う人たち）				→				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 申込チーム数			
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] ①上限チーム数（450チーム）に近い参加チーム数を維持する。※450チームという上限数はH31年度実施時のもの。 ②各体育大会を通じて、スポーツをすることの大切さや楽しさを感じてもらう。				→				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） ①実際に参加したチーム数/チーム数上限（450チーム）比率 ②スポーツ・レクリエーションの推進の施策に対する市民の満足度			
	③ そのために何をしましたか。 ①大会ホームページの作成 ②都下及び近隣市区市町村スポーツ振興課への広報 ③多摩都市モノレールの各駅にポスターの掲示 ④前回参加チームへの案内送付 ⑤都内高校陸上部に大会要項を送付 ⑥陸上競技大会をまとめたサイト（RUNNET）からのインターネットによる申込受付				→				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 左記の事務実施回数 ※令和3年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により大会を中止した。			
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績		令和4年度目標		令和5年度目標		
	対象指標	①の数値	チーム	448	0 (申込前に大会中止)	0 (年度当初に中止を決定)						
	成果指標	②の数値	①% ②%	①0 (途中で大会中止のため) ②20.6	①0 ②16.0	①0 ②14.70						
	目標	②の目標値	①% ②%	①100 ②21.6	①100 ②21.6	①100 ②21.6						
目標値設定の考え方 市民意識調査において、平成33年（令和3年）の「スポーツ・レクリエーション活動の推進に対する市民の満足度」の目標値を21.6%としている。（第四次基本計画）												
3 経費	活動指標		③の数値	①1回、②54市区町村、 ③3駅、④約2カ月、⑤239チーム、⑥127校		—		—				
	事業費（実績）		円	614,285		0		0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値（退職手当組合負担金、共済費も含む。）		
	財源	一般財源	円	307,285		0		0				
		特定財源（国・都・他）	円	307,000		0		0				
	(うち受益者負担)		円					0				
人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	1.0		0.3		0.3					
	所要人数(再任用)	人										
	職員人件費(再任用以外)	円	8,310,000		2,514,000		2,475,000					
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	8,924,285		2,514,000		2,475,000					
4 環境変化等	(1) 開始年度		H3 年度									
	(2) 環境の変化 新型コロナウイルス感染症の影響により、平成31年度は大会直前で中止、令和2年度・令和3年度については両年とも開催を決定する時期（夏前）においても、新型コロナウイルス感染症の収束の目途が立たなかったことから中止を決定しており、3年連続で実施できていない。											

事業名称	スポーツ振興事業費[多摩湖駅伝大会事業]			
担当部署・課長名	生涯学習（社会教育）	課	スポーツ推進	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	特になし			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：②		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 今までに例のない3大会連続の中止により、次に実施できたときの大会は参加者の減少が見込まれるため、市民や関係各所と協働し、多方面へ大会周知を行うことを目指す。また、例年大会への支援として企業に協賛金を募ってきたが、この協賛についても検討が必要である。			
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	感染症対策を講じた安全安心な大会を開催するため、これを踏まえた大会運営方法を検討する必要がある。 また協賛企業を増やしていくよう努力する。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 令和3年度は開催決定時期が新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下にあったことから、収束の目途が見えず、安全な大会運営が困難であると思われたため、大会の中止を決定した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら、安全安心な大会の開催に向けて対策を行った大会運営方法を検討する必要がある。 また協賛企業を増やしていくよう努力する。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： スポーツ・レクリエーションの推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・新型コロナウイルス感染症対策を講じた安全安心な大会運営の方法を検討し、大会を開催する。 ・3大会連続での大会中止により、次の大会は参加者の減少が見込まれるため、市民や関係各所と協働し、多方面へ大会周知を行う。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 ・大会開催に向けた課題（三密の防止策等）の整理、他大会の先進事例の収集、関係各所（会場の管理者等）との調整を行う。 ・SNS等、多方面に向けた大会の周知を行う。 ・参加者からのアンケート等で、大会実施に対する評価（満足度等）を得られる仕組みを検討する。			